

精神看護は訪問看護事業部の今年度学習研修テーマです。
精神科疾患の方、社会生活に困難を持つ方はベースに発達障害があることが少なくありません。

そこで今回は「**発達障害の基本**」を学びました。

コロナ対策のため、事業所をこえて集合するのは避け、**ZOOM**学習会です。



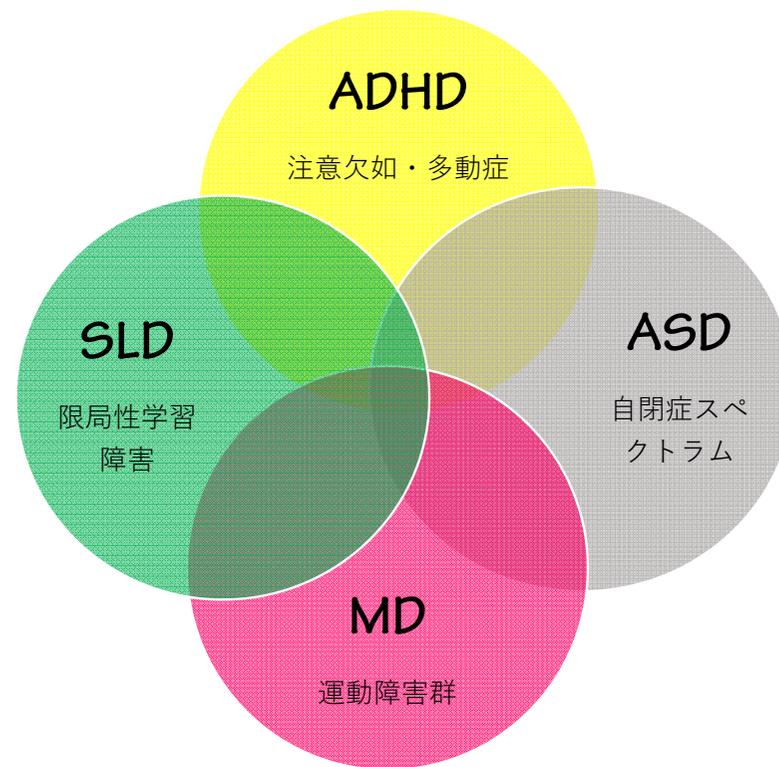
当日はハロウィーン。
仮面をつけてご挨拶の事業所も=^_^=

注意欠如・多動性 (ADHD) は、学業、遊び等の活動で、注意を持続、順序だてて取り組む事が苦手で、物事をやり遂げる事が難しくなることが多いです。必要なものをなくす様子も見られます。失敗を繰り返してしまうので、本人が一番困っています。一緒にどうすればいいか、ゆっくり成長を見守り、自信を持たせてあげる必要があります。

自閉症スペクトラム障害 (ASD) は、コミュニケーション、変化が苦手、感覚の過敏があります。困りごとへの対応は、放任でもやりすぎてもいけません。本人が安心して行える目標を探していきましょう。好きな事を追及する力があります。

発達障害の特徴 繰り返し失敗してしまうと自分に自信が持てなくなってしまう事があります。

親の愛情のかけ方、しつけができていないと、親が追い詰められてしまうこともあります。それぞれの時期に合わせて成長を促して、自分もやればできる、相談をすれば一緒に考えてもらえると感じられることが大切です。



学習障害は基本的に知的発達に遅れはないが、聞く話す、読む書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に困難があります。限局性学習障害では学齢期で困難さが出現しやすい。

書字障害のある当事者お二人にインタビューし、その体験をうかがいました。現在は授業に**PC**を導入したり、黒板をスマホで撮るなどにより学習に取り組まれています。おひとは外国の高校生で、発達障害への理解の進んだ教育環境では困難さは感じないと話します。もうお一人は日本の大学生ですが、レポートは一度**PC**で文書化してから文字おこしして提出しています。

学習障害は、**PC**等の機器を使用する事で課題をクリアできる事が多く、これらの使用を覚える事がその次の課題の達成を助ける事になります。しかし、教師を含め周りの人に障がいだと気づいてもらえないことで、学習の機会を狭めてしまう可能性が高いのです。



「明日からできる3つのこと」をグループで話し合いました

- ・ レッテルを張らず、何に困っているか聴こう。
- ・ 真摯に向き合い話し合える関係になろう。
- ・ できることや、やっていることに着目する
- ・ こちらの都合に合わせた直そうとせずその人に合わせた方法を探そう
- ・ 個別に具体的対策を考える
- ・ 成功体験につながるよう一緒に評価する
- ・ ご本人のペースで生活できていればOK! と見守る
- ・ 啓蒙 周りの人の気づきを支援する



利用者さんに照らし、
明日からの看護に役立てていきたいと思えます。



今回運営をした所長2名。
講師の任を終え、さわやかな川風と夕日をあ
びております(・_+)シ

♡勤医会訪問看護で一緒に働き学びませんか。看護師さん大募集して
います♡